

仙台市 令和8年 夏号 農政だより

【発行】仙台市経済局農林部(農林企画課、農業振興課、農業土木課)



とれたて仙台

仙台の大地の贈り物

水田輪作モデル構築事業を実施しています

市では、令和7年度より、宮城県、J A仙台、東北大学大学院農学研究科、農機具メーカー、種苗メーカー等とプロジェクトチームを組み、市内東部地区と西部地区のモデル農地において、スマート農業技術や環境負荷低減技術等を用いながら、水田での水稻生産を主軸に園芸品目や他穀類を生産する収益性の高い輪作体系の構築を図るための実証事業を実施しています。

2年目となる今年度は、市内の複数のモデル農地において、ドローンを用いた防除や、自動操舵トラクター、自動運転田植機などを用いた省力化・効率化の実証を行っています。また、今後はバイオ炭の施用といった環境負荷低減に係る実証も行う予定です。

更に、今年度は水稻と大豆の輪作に加え、新たに水稻と馬鈴薯・ブロッコリーの輪作について、スマート農業機械や新たな技術・機械・資材等の導入による作業効率および生産性の向上に係る実証にも取り組みます。

今後も様々なスマート農業技術等の実証を予定しており、各モデル農地の実証について、これから順次、現地での見学会や研修会なども開催する予定です。



ドローンによる防除作業



自動運転田植機を用いた田植え作業

【農業振興課生産支援係(電話:214-8335)】

「仙台市旬の香り市」に出店しませんか



「仙台市旬の香り市」(勾当台公園仮設広場)
開催の様子

「仙台市旬の香り市」は、市民に新鮮な地場産農産物や農産加工品を販売することを通じて、仙台の農業を理解していただくために開催している直売会で、仙台市と市内の農業者等で構成する「仙台市旬の香り市実行委員会」が主催しています。

令和7年には、勾当台公園で4月から11月までの期間中毎月2回のペースで合計16回開催。せんだい農業園芸センターで5月から10月までに計7回、SWING泉中央駅ビルで7月から12月までに計4回開催しました。

市内の農業者や農業者の団体で「仙台市旬の香り市」に出店を希望される方や、「仙台市旬の香り市」に限らず、その他のイベント等への出店を希望される方は下記までご連絡ください。

【農業振興課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

「今朝採り枝豆」の提供が始まりました

仙台市は生産地と消費地が近く、都心部でも新鮮な農産物を楽しむことができます。農業振興課では消費者の皆さまに「とれたて」のおいしさを知ってもらうため、仙台産農産物を生産者から流通事業者、お店、消費者へとつなぐ「とれたて仙台プロジェクト」を実施しています。“鮮度”や“安全性”といった付加価値を高めることで生産者の収益向上につなげるとともに、市内の飲食店やSNS等を通じてPRすることにより、認知度を向上させ、地域経済の活性化に取り組みます。

今年も7月から「今朝採り枝豆」の提供が始まりました。枝豆は収穫から時間が経つほどに甘みやうまみが減っていく、鮮度が命の野菜です。プロジェクトでは、早朝に収穫した「今朝採り枝豆」を独自の流通体制で配送し、その日のうちに飲食店や量販店、小売店等で販売・提供しています。

量販店での販売初日となった7月2日には、みやぎ生協仙台ハーベストビレッジ店で、プロジェクトに参加している生産者が「今朝採り枝豆」のPRを行いました。生産者は「収穫間際に大雨があったが、無事収穫ができて安心した。今年も出来の良い、甘みのある枝豆ができた」と話していました。また、「今朝採り枝豆」を試食したお客様からも「甘みが強く、香りもある」「一粒一粒がしっかりしていておいしい。毎年楽しみにしている」と好評で、自宅でもとれたての旬の味を楽しもうと、早速手に入る方が多くいました。

「今朝採り枝豆」は、品種をリレーしながら9月下旬まで提供を予定しています。地元の生産者が作ったおいしい「今朝採り枝豆」をぜひご賞味ください。

○今朝採り枝豆提供期間：量販店・飲食店ともに

7月2日～9月下旬予定

今年の提供店の詳細は、下記ウェブサイトまたはInstagramをご覧ください。

公式ウェブサイト
「とれたて仙台」



Web

公式Instagram
「とれたて仙台」
(@toretate_sendai)



Instagram

公式ウェブサイト・Instagram「とれたて仙台」では、今朝採り枝豆以外にも、仙台市の地産地消や農業に関する情報を発信しています。



「今朝採り枝豆」生産者のみなさん



【農業振興課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

ため池の減災対策へのご協力をお願いします

これからの台風シーズンにおける出水対策として、支障のない範囲でため池の低水位管理をお願いします。満水のため池は水があふれやすく、被災の可能性が高まります。

市では、農業用ため池が決壊した場合に、人的被害を与える恐れがある防災重点農業用ため池の浸水想定区域等を示したハザードマップを公表しています。災害発生時の危険箇所や避難場所を事前にご確認いただき、適切な避難行動にご活用ください。ハザードマップは、各区役所(若林区を除く)・総合支所で配布しているほか、市ホームページでもご覧いただけます。

【農業土木課管理係(電話:214-7328)】

多面的機能支払交付金制度により地域の共同活動を支援します



多面的機能支払交付金制度は、農地の維持のほか、水路の草刈り・泥上げ、農道の路面維持、施設の軽微な補修、花の植栽による景観形成など地域の共同活動を支援する制度です。現在、市内では51組織が農業振興地域内の農用地区域（青地）を中心に活動しており、水路・農道等の保全管理に大きな成果を挙げています。

市では、今後も農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のため、地域の共同活動に対して支援していきます。

来年度以降、新たに制度への取り組みをお考えの地域の方は、下記までご相談ください。

【農林企画課農地活用係(電話:214-8334)】

せんだい農業園芸センター加工研修の受講生を募集します

開催日時	①令和8年 9月16日(水) 14:00~15:30 ②令和8年10月21日(水) 14:00~15:30 ③令和8年11月25日(水) 14:00~15:30
場 所	せんだい農業園芸センター 加工棟
内 容	当園専門監による食材のとおっておきの話とホテルメトロポリタン仙台シェフによる加工食品づくりの実演、これを使ったアレンジ料理（試食あり）の2部構成
使用食材	①ブドウまたは梨 ②イチジク ③リンゴ
受講料	各研修内容ごと要確認
対象者	農業従事者または農産品加工に興味のある方
定 員	各回10名程度（各研修内容ごと要確認）※先着

○内容の詳細等は下記までお問い合わせください。

○申込方法

- 受付期間：開催日の1か月前から1週間前まで
- 電話またはFAX（住所、氏名、メールアドレス、電話・FAX番号、申込コースを記載）にて、下記連絡先まで
- ホームページ（<https://stbl-fruit-farm.jp/arai/training/>）からも申込みが可能です。

【仙台ターミナルビル(株)荒井事業所(電話:762-9688/FAX:762-9668)】

【農業振興課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

クマを呼ばない・出会わない対策が大切です

今年度もクマの目撃が相次ぎ、農作業中にクマと遭遇するリスクが高まっています。農林水産省ホームページに掲載の注意喚起リーフレット等を確認し、農作業時の安全対策に努めましょう。

クマを呼ばないために

- 生ごみや収穫残さを屋外に放置しない
- 収穫後は果実を放置せず適切に除去する
- 収納庫は施錠し、管理を徹底する
- ガソリンなどの揮発性物質の管理にも注意

クマと出会わないために

- ラジオなどで音を出し、人の存在を知らせる
- 早朝・夕方は特に注意する
- 単独での作業は避ける



農林水産省ホームページ

【農業振興課生産支援係(電話:214-8335)】

7月から9月は夏の熱中症等声かけ期間です

「いのちをうばう、夏のひとり作業」

農作業中の熱中症死亡事故の多くは、1人作業で発生しています。大切な人の命を守るため、家族や地域で声を掛け合い、早めの対策で熱中症を予防しましょう。



農林水産省
夏の熱中症等声かけ
期間チラシ

○暑さを避けたり暑さ指数を確認しながら作業しましょう！

できる限り高温時の作業は避け、日陰や風通しのよい場所で作業しましょう。また、暑さ指数(WBGT)を把握し、その日の作業の強度を検討しましょう。

○こまめな休憩と水分補給をしましょう！

こまめに休憩を取り、喉の渇きを感じる前に水分・塩分を補給しましょう。休憩時は日陰等の涼しいところで衣服をゆるめ体を冷やしましょう。

○単独作業は避けましょう！

なるべく複数人で作業を行う、時間を決めて休憩の声かけをするなど、定期的に体に異常がないか確認し合うようにしましょう。

○熱中症対策アイテムを活用しましょう！

暑い時間帯の作業が避けられない場合は、帽子や吸湿速乾性の衣服、ファン付きウェア、ネッククーラー等を活用し、無理はしないようにしましょう。

暑さ指数(WBGT)は環境省ホームページで見ることができます

[環境省：熱中症予防情報サイト 宮城県]

https://www.wbgt.env.go.jp/sp/graph_ref_td.php?region=02&prefecture=34&point=34392



環境省：熱中症予防情報サイト

【農業振興課生産支援係(電話:214-8335)】

台風などの災害に備えましょう

これからの台風シーズンに向けて、災害対策を行いましょう。

○事前の対策をしっかりと！

- 強風に備えて ●施設の取り付け金具の点検や押さえ紐による固定等を行いましょう。
●露地畑では、べた掛け資材が風にあおられないようにしっかりと固定しましょう。
- 大雨に備えて ●浸水や冠水の恐れがあるほ場では、事前に見回り、排水口や側溝のゴミや泥を除去しておきましょう。

○人命第一

ほ場の見回り等は気象情報を十分に確認した上で、大雨や強風が収まるまで行わないようにしましょう。大雨等が収まった後の見回りも、増水した水路等の危険な場所には近づかず、周辺の安全に十分注意して、慎重に行いましょう。

○水路の詰まりに注意！

台風通過後には、ゴミや稲刈り後のわらが用水路や排水路に流れ込み、詰まることが多くあります。大雨等が収まった後には必ず見回り、詰まりを除去しましょう。

【農業振興課生産支援係(電話:214-8335)】

【発 行】仙台市経済局農林部(農林企画課、農業振興課、農業土木課)
〒980-0803 青葉区国分町3丁目6番1号 表小路仮庁舎(仙台パークビル9階)
電話 022-214-8265 FAX 022-214-8338(農林企画課)

◆Eメール kei008110@city.sendai.jp(農林企画課)

◆H P <https://www.city.sendai.jp/kurashi/shizen/norinsuisan/index.html>



仙台市農林水産業ページ



とれたて仙台WEBページ